


# イワクラ調査票

提出月日 2016年9月28日

受付番号 A00075 整理番号 290029

単独・群	概要（遺物・伝承）
<p>■ 単独のイワクラ    ■ 神野山イワクラ群</p>	<p>山添村の文献等に記述一切ない。 2003年、神野山に星空が写されているのではとの仮説のもと、それとおぼしき位置を探索した結果この北斗岩(小)が発見された。位置的には合致するが北極星を表現しているにしては小さすぎると思いさらに周辺を探索した結果北斗岩(大)を発見した。</p>
名称	
<p>北斗岩(小) 北斗岩に隣接し、これを含めて北斗岩と称する。</p>	
公開可否	
<p>公開。県立自然公園内にあり、自然物の採取等否。</p>	
所在地	参考資料文献（文献・書籍・ホームページ）
<p>奈良県山辺郡山添村 神野山山中 最寄インター：西名阪国道神野山口インターより西方向に約4km。 めいめい牧場上の駐車場より徒歩5分</p>	<p>学会誌「イワクラハンドブック」 イワクラ（磐座）学会発行</p>
GPSデータ	
<p>34.671040, 135.997314</p>	
写真	情報提供者
	<p>柳原輝明</p>
	その他
	<p>神野山全体が天球を地上に写しているとの仮説のもと探索し、発見された。神野山山頂を天頂とみなした時、まさしく北極星の位置に存在する。 近接して大小の岩組が発見され、検討の結果、紀元前2000～2500年頃の北極星「ツバーン」ではないかと考えられる。その当時の北極星は大小二つの星が隣接して輝いていたことが天文ソフトで確認された。 詳細は学会誌「イワクラハンドブック」（イワクラ（磐座）学会発行）参照。</p>
学会使用欄	
<p>■イワクラ認定 □暫定イワクラ □未イワクラ</p>	